

小学校英語教育学会（J E S）2024年度
東京・神奈川合同支部セミナー
2025.03.20

聞くことが育む英語力 - R W L の効用 -

田近裕子
開智国際大学/津田塾大学

聞くことの大切さ

- ▶ 聞くことが、話すことの源になる。
- ▶ 聞くことが、書くことに繋がる。
- ▶ 聞くことは、読むことや語彙習得に繋がるのか？

音がなければ ➡

読めない
新しい単語が覚えられない

- ▶ テキスト読解のプロセスで、音声はどう関わるのか。
- ▶ 読む過程では、単語を見たら直接、意味理解につながるという説もあるが、むしろ、単語を見たら、作業記憶で何らかの音声化（内音：subvocalization; inner speech）がなされ、そのうえで、長期記憶にある意味に到達する説がある。（2説の併用も考えられる。）要は、読解には、内音が不可欠。新しい単語を身につける時も、同じことが言えると考えられる。(Baddeley, Eldridge, & Lewis, 1981; Baddeley, 2000)
- ▶ 音声は、テキスト読解の鍵となると言える。

英語母語話者にとっての読み聞かせ効果

- ▶ 英語母語話者の場合、先生や家族などによる読み聞かせは、小学生や学齡前の子どもにとって、語彙習得に概ね有効。
- ▶ リサーチ結果としては、統計的には、語彙習得に、かなり有効（Baumann, 2009, p. 326）。おそらく、読解力にも影響あり。（子どもの場合、語彙力や読解力の測定がなかなか容易ではない。）
- ▶ ただし、どう読み聞かせるか、誰が誰にどのように、といった点も語彙習得や読解力に影響するのも事実。また、なぜかについては、諸説あり。

子どもたちへの読み聞かせの大切さ

- ▶ 読み聞かせ活動は、音声インプットと絵や文字の理解をマッチさせる。耳で聞いて、目で絵や文字の表す意味を探り当てる。
- ▶ 読み聞かせは、音声と文字、つまり読解の基礎を作る大切な作業。まだまだ聞く力のある小学生のうちに、英語の音声と文字の関係性を充分経験、体験させる。
- ▶ この経験が、その後、テキスト読解に役に立つ。subvocalization あるいは inner speech が蓄えられるのは、読み聞かせ活動による。小学生の間に、潤沢に読み聞かせをする必要がある。
- ▶ <https://storyline.online> Storyline onlineのサイトで、俳優などのプロが絵本の読み聞かせをしてくれる。
- ▶ <https://storylineonline.net/books/the-giving-tree/>
- ▶ <https://storylineonline.net/books/library-lion/>
- ▶ <https://storylineonline.net/books/harry-the-dirty-dog/>
- ▶ <https://storylineonline.net/books/how-i-learned-geography/>

多読・多聴による潤沢なインプット

- ▶ 多読の効用は広く知られ、実際に広く行われている。多読は、文脈のある英語テキストを通して、語彙、文法、慣用表現、言い回し、読解力などを培う言語活動。
- ▶ 多読は実に効果的だが、それぞれの学習者の心の中で、何が起きているのか把握が難しい。
- ▶ テクスツ読解とはどのような作業かを考える際、多読において、subvocalization や inner speech はどうなっているか、どんな subvocalization や inner speech が起きているのか、確認が難しい。
- ▶ 理想的な多読は、自分の語彙・文法力で容易に対応できるテキストを、楽しみながら読む事。しかし、英語を英語で理解し、subvocalization や inner speech を活用している保証はない。（読解における日本語訳の介在の問題がある。）

RWL(Reading While Listening) 活動の例

- ▶ 子どもへの読み聞かせに近い形での、音声インプットを伴うテキスト読解として、RWL活動が最近、多読に用いられている。(Nation & Waring, 2019)
- ▶ 紙あるいは電子の多読教材の音声を聞きながら、テキストを読む活動。効果が高いというリサーチ結果が多数報告されている。(Woodall, 2010; Webb & Chang, 2012; Chang & Millet, 2015)
- ▶ 大学生とでRWLを行ったところ、読む（黙読）スピードがあがり、語彙サイズも大きくなった。学習者からのコメントでは、英語を英語で理解する習慣がついてきたとあった。テキストを聞くこと、つまり、音声インプットの効果として、速く、しかも日本語を介在させずに英語を読むことができるようになった。

RWLの使用教材紹介

World History Readers (Seed Learning) 各レベル10巻 6レベル 全60冊

- ▶ まず、黙読で通し読みの時間を計測。
- ▶ 次に、セクション毎に、CDを聞きながらテキストの文字を追う(RWL)、さらに読解のために黙読。その後、もう一度、黙読での通し読みに要した時間を計測。
- ▶ CDの長さは5～7分、テキストはレベル1では、Base Vocabulary 800語
各冊子では、約600~700語程度。(約100~120語/ 1 分の速さ。
比較的ゆっくり。)
- ▶ 最期に、理解度チェックの設問に答える。

RWL教材のサンプル

Time for All

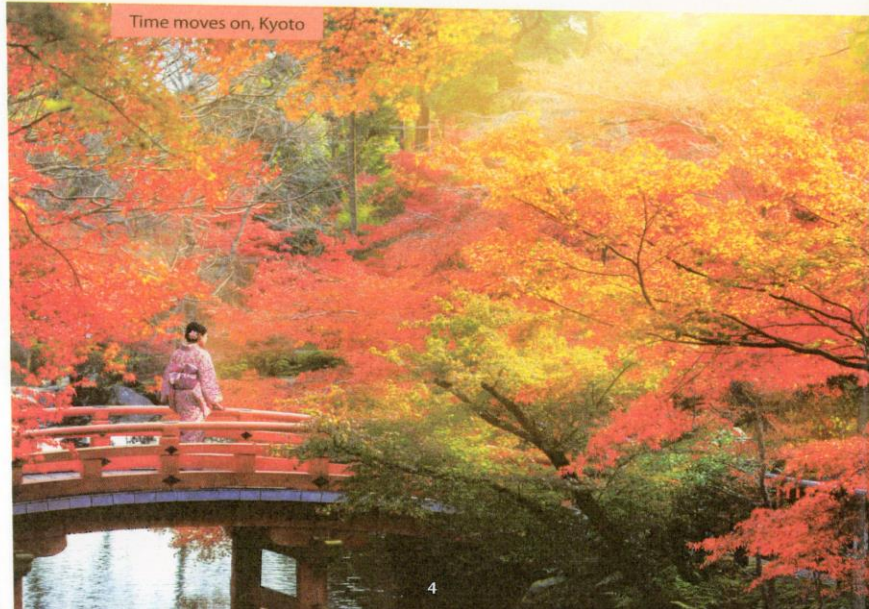
All living things understand time. We notice the coming and going of days, seasons, and years.

We get old, we age, and we die.
Time is all around us.



Old and young

Time moves on, Kyoto



Waiting for rain

Being able to understand time and predict when it would rain, or be hot or cold, was very important to farmers and hunters.

We needed a schedule of time to record this, so we invented the first calendars.



Crops

RWL教材のサンプル

A Calendar in the Head

The first calendars were in our heads. People counted the days, every new moon, or the days in the seasons. But this was not good enough to predict when to plant crops or bring the animals in for winter.



The Egyptian Calendar

One of the earliest calendars came from Egypt. It had 12 months of 30 days. Each month had three weeks, and each week had 10 days.



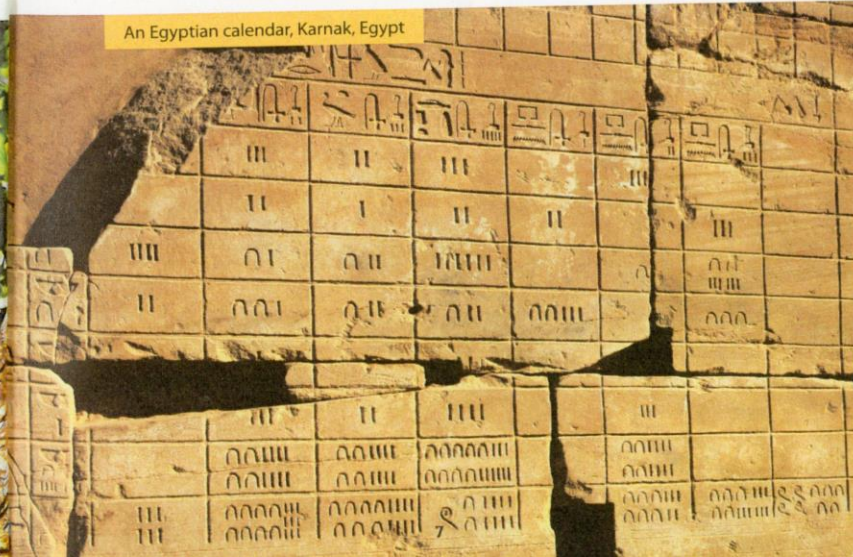
The Karnak Temple,
Luxor, Egypt



The four seasons



An Egyptian calendar, Karnak, Egypt



RWL教材のサンプル

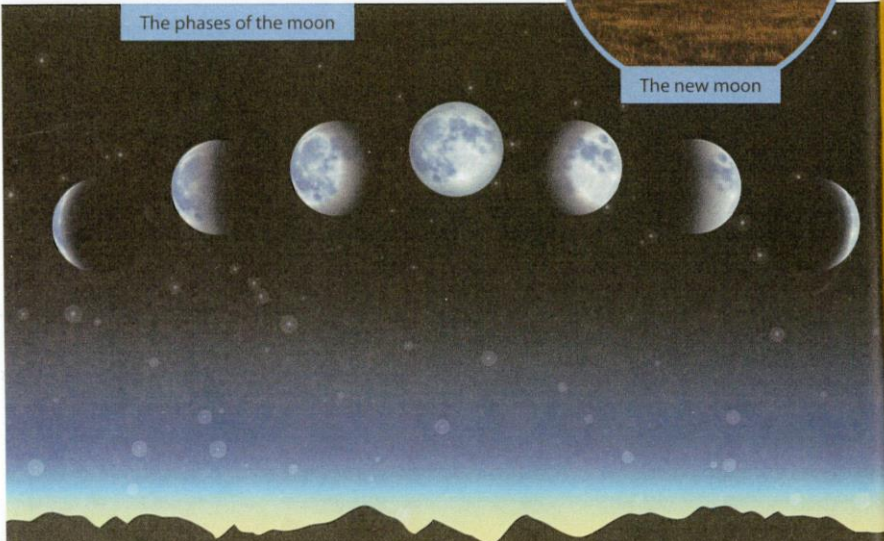
Calendars Based on the Moon

After the Egyptians, the Babylonians from Iraq created a 12-month calendar based on the new moon. The moon takes 29.5 days to go from new moon to new moon. But it takes the moon 27.3 days to go around the earth. This difference means the calendar was not accurate.



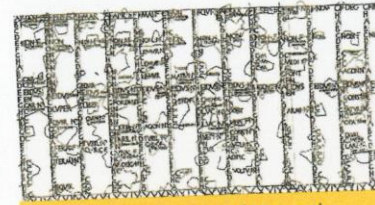
The new moon

The phases of the moon

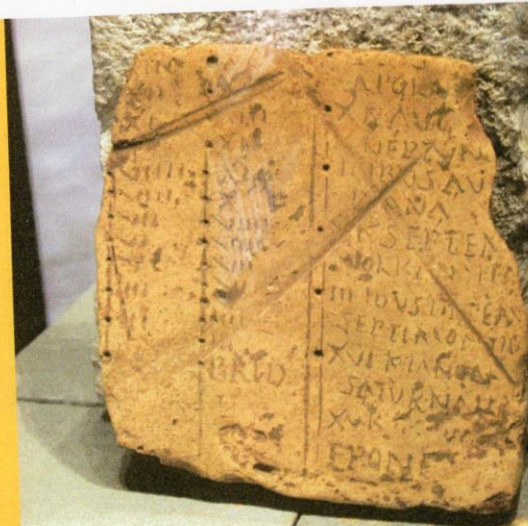


A Calendar from Rome

The founder of Rome, Romulus, created the Roman calendar with 304 days and 10 months of 30 or 31 days.



A Roman calendar of 10 months



A Roman calendar created in 8 BC, Italy

学習者S1の声

- ▶ S1:
- ▶ Day 2: 音と文字が重なることで、言葉の意味を読むだけ、聞くだけの時に日本語に訳さずに理解できるように、この章ではなった気がした。(4;33→2;12)
- ▶ Day 3: 数字についての歴史は、ほとんど知らなかったなので、勉強になった。何度も聞くと、しっかり日本語でなく、英語を英語のまま読むことができた。(6;05→4;45)
- ▶ Day 4: 万里の長城について知らないことを知れた。英語を英語のまま理解できた。(6;18→3;37)
- ▶ Day 5: 英語だけでなく、歴史について深く知れた。英語を英語のまま理解するのは、とても有効なものだと思った。(7;43→4;43)
- ▶ まとめ：PCやCDの性能上、仕方がないが、何度も同じことを繰り返し黙って聞きながら読むのは、きつかった。少し眠くなった。(3,500 or 5,000)→8,600)

学習者S2の声

- ▶ S2:
- ▶ Day 2: Frankly speaking, this method is boring.私は、とてもやり方が地味で、とても深いと思った。興味深いです。(5;00→4;00)
- ▶ Day 3 : 知っていないことを英語を通して深めるのはとても興味深いです。(6;00→4;50)
- ▶ Day 4: 基本的なことを英語でやるのはおもしろいです。しかし、19歳の私には少し退屈です。(6;18→4;17)
- ▶ Day 5: 世界は分断しています。私は、不安です。(7;40→5;41)
- ▶ まとめ : 耳で聞いたことを、声に出す作業のほうが、アメリカ式でいいと思います。私はあまり好きにはなれなかったです。(5,900 → 7,200)

学習者S3の声

- ▶ S3:
- ▶ Day 2: 歴史の知識と合わせて学ぶと理解度が上がる。まだ、音声に置いて行かれる感じがする。(8;02→5;21)
- ▶ Day 3: 欠
- ▶ Day 4: 欠
- ▶ Day 5: 実際にEUに行って見たいと思った。EUの歴史や由来がよく分かった。(8;22→5;38)
- ▶ まとめ：音声があることで単語の発音も同時に学ぶことができ、単語を覚えるスピードが上がったと思う。(6,600 → 9,100)

音声インプットの重要性

- ▶ 多読における R W L (Reading While Listening) について、紹介したが、音声インプットの重要性は、単に話せるようになるためだけではなく、読解にも、おそらく語彙習得にも影響を及ぼすと考えられる。
- ▶ 新しい単語を身につけていくプロセスを考えると、音声抜きに新出単語が記憶できるとは考えにくい。何らかの形で、subvocalizationあるいはinner voice が関わって、新しい単語が学習者の中に蓄積され则认为るのが自然であろう。となると、音声インプットの果たす役割は想像以上に重要。
- ▶ 音声インプットは、読解力・語彙力にもつながる、英語学習のすべてをささえる一番大切な要素と言えよう。

参考文献

Baumann, J. F. (2009). Vocabulary and Reading Comprehension: The Nexus of Meaning. In S. E. Israel and G. G. Duffy (Eds.) *Handbook of Research on Reading Comprehension*. (pp. 323-346). New York and London: Routledge.

Baddeley, A., Eldridge, M., & Lewis, V. (1981). The role of subvocalization in reading. *Quarterly Journal of Experimental Psychology*, 33A, 439-454.

Baddeley, A. (2000). Working memory. In A. Baddeley, M. W. Eysenck, and M. C. Anderson (Eds.) *Memory* (3rd ed.) (pp. 70-110). London and New York: Routledge.

Chang, A. C-S. & Millet, S. (2015). Improving reading rates and comprehension through audio-assisted extensive reading for beginner learners. *System*, 52, 91-102.

Nation, I. S. P., & Waring, R. (2019). *Teaching Extensive Reading in Another Language*. New York and London: Routledge.

Webb, S., & Chang, A. C-S. (2012). Vocabulary learning through assisted and unassisted repeated reading. *The Canadian Modern Language Review*, 68 (3), 267-290.

Woodall, B. (2010). Simultaneous listening and reading in ESL: Helping second language learners read (and enjoy reading) more efficiently. *TESOL Journal* 1 (2), 108-205.

聞くことが英語学習のすべてです。
頑張らしましょう！！

ご清聴ありがとうございました！

